

「夏休み！いばらき水産・海洋教室」を開催しました

【はじめに】

水産試験場では、小中学生のみなさんに本県の海の豊かさやそこで営まれている水産業についての理解を深めていただくため、毎年夏休み期間中に水産・海洋教室を開催しています。

今年も県内の小学5年生から中学3年生の児童・生徒とその保護者を対象に7月24日（火）から26日（木）の3日間、茨城県立海洋高校、アクアワールド茨城県大洗水族館との共催により、「夏休み！いばらき水産・海洋教室」を開催し、55組114名（応募者187名）の方に参加いただきました。夏休みの1日、さまざまな体験型メニューを通じ、茨城県の海やそこに生息する生物、水産業について学び、親しんでいただきました。

【内容】

（1）サンマ大和煮缶詰作り

原料のサンマの頭を落とし、内臓を除去し、洗浄した後、決められたサイズに筒切りにして缶詰に詰め、調味液を入れ、ふたで密閉して手作り缶詰を作りました。



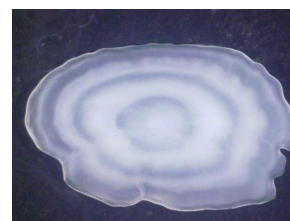
（2）海洋高校実習船体験乗船

海洋高校の実習船「ひたち」「はくあき」に乗船し、那珂湊沖を航行しました。船長の指導の下で、参加者が舵を握り、操船の体験を行いました。



（3）水産試験場セミナー

茨城の海、魚介類や水産業の特徴についての説明の後、カレイ類から耳石を取り出し、年輪の数から年齢を調べました。



（4）水族館見学

① 館内自由見学

自由に水族館を回り、海洋生物の日中の様子を観察しました。

② 水族館セミナー

カクレマノミ、チンアナゴ、ラッコ、イルカなどの眠り方や夜の生態について、クイズ形式での説明を受けました。

③ ナイトツアー

普段見ることのできない海洋生物の夜の様子を水族館職員の解説を聞きながら、観察しました。



【参加者の声】

アンケートの結果、「貴重な体験ができました。」「また来年も来たいです。」といった声を多くいただきました。また、回答者の91%から「水産業や海に興味を持った。」という回答をいただきました。

今後も参加者に楽しく茨城の海、水産業などについて学んでいただける場になるよう開催内容を充実していきたいと思っております。

（水産試験場 経営普及室）

【次回予告】 H30.8.28 発行の水産の窓は、「春シラス漁の結果と秋シラス漁の見通し」を予定しています。